

第13回全日本テコンドープムセ選手権大会
兼第4回全日本障がい者総合テコンドープムセ選手権大会

開催要項

1. 名称 第13回全日本テコンドープムセ選手権大会
兼第4回全日本障がい者総合テコンドープムセ選手権大会
2. 主催 一般社団法人全日本テコンドー協会
3. 主管 山梨県テコンドー協会
4. 開催日時 2019年10月26日(土) 10:00 開場 11:00 受付(抽選)
12:00 開会式 12:30 試合開始
5. 開催場所 山梨市民総合体育館
〒405-0014 山梨県山梨市上石森701
TEL 0553-22-5600
電車・バスをご利用の場合
JR「山梨市駅」から、山梨市営バス(南方面巡回)「体育館入口」バス停下車
自動車をご利用の場合
中央自動車道「一宮御坂IC」または「勝沼IC」より車で約12分
6. 開催種目 プムセ/障がい者・プムセ/2部門とする
7. 出場資格：①一般社団法人全日本テコンドー協会に2019年度個人登録している選手
で各都道府県統括団体の承認を得た者
②心身ともに健康で、国技院およびWT公式のプムセ(品勢)を
熟知する者
③国技院およびWTの段・品取得者
※国技院段証のコピー添付する
※外国国籍の場合、日本在住であること(外国人登録証明書のコピーを添付)
※年齢は2019年1月1日～12月31日までの間に迎える満年齢とする
※2020年に階級カテゴリーが変わる選手はどちらのカテゴリーに出場しても可
8. 種目：個人/団体/ペア/障がい者/5部門にする
A. 男子個人【規定プムセ・フルースタイルプムセ】
B. 女子個人【規定プムセ・フルースタイルプムセ】
C. ペア(男女)【規定プムセ・フルースタイルプムセ】
D. 団体(男女混合3名以上)【規定プムセ・フルースタイルプムセ】
E. 障がい者個人【規定プムセ】
※ペア・団体の参加に関しては県協会・道場単位でなくても可
※ペア及び団体はどちらかの出場とする
※参加種目は最大3種目(例えば、個人規定・フリー・ペア規定など)

9. 試合形式及び時間

【規定プムセ】男女個人・ペア・団体

A. 1 種目試演時間は 90 秒以内とする

B. 採点基準〈10 点満点の減点方式〉

ア. 正確性（4 点満点）

a) 基本動作の正確性

b) 各プムセの詳細項目

イ. 表現性（6 点満点）

a) 速度と力

b) 剛柔・緩急・リズム

c) 気の表現

C. 予選はカットオフ方式で行い、決勝へ 5 名を選出する

D. 決勝ラウンドにおいては予選の順位が低い選手から行う

E. 競技は男・女別で実施する

F. 5 名以下の階級はカットオフ方式で順位を決定する（決勝）

※決勝は 2 種目行い合計点数で順位を決め、3 位まで表彰する

G. 予選・決勝の規定プムセは下記のプムセより抽選 2 種目を演武

H. 申込状況に応じて合同級を設置、予選を省略し決勝のみとする場合がある

I. 試合進行を妨げる行為は失格とする

J. セCOND制度(セCONDの有無は選手に選択させる)

K. ペア、団体は区分内プムセから自由選択、障がい者プムセはプムセの指定なし

部門	カテゴリー	規定プムセ
個人	カデット (12~14)	太極 4 章~8 章・高麗・金剛
	ジュニア (15~17)	太極 4 章~8 章・高麗・金剛・太白
	U30 (18~30)	太極 6 章~8 章・高麗・金剛・太白・平原・十進
	U40 (31~40)	
	U50 (41~50)	太極 8 章・高麗・金剛・太白・平原・十進・地踏・天拳
	U60・U65・O65 (51~)	太極 8 章・高麗・金剛・太白・平原・十進・地踏・天拳 漢水
ペア・団体	U30 (12~30)	太極 6.7.8 章 高麗・金剛・太白・平原・十進
	O30 (30~)	太極 8 章 高麗・金剛・太白・平原・十進・地踏・天拳
障がい者		指定なし

【フリースタイルプムセ】男女個人・ペア・団体男女混合(男女各 2 名以上含む 5 名で構成)

A. 試合時間 60~70 秒

B. 採点基準

採点項目	細部基準項目	点数	
技術力 (6.0)	蹴りの難易度 (5.0)	①ジャンプオブチャギ(横蹴り)ジャンプの高さ	0.0~1.0
		②ジャンプオブチャギ(前蹴り)蹴りの数	0.0~1.0
		③回転蹴り(回転角度)	0.0~1.0
		④連続蹴り	0.0~1.0

		(キョルギスタイル蹴り)	
		⑤アクロバティック動作	0.0~1.0
	基本動作と実用性		0.0~1.0
演出性 (4.0)	創意性		0.0~1.0
	調和		0.0~1.0
	気の表現		0.0~1.0
	音楽と振り付け		0.0~1.0
合計点数			10.0

C. 注意事項

(1) 演武の中に必ず必要な立ち方項目

ハックダリソギ、ボムソギ、ティックッピ

(2) 演武順番は、必ず①→⑤順に行なう

(3) プムセ演武線、音楽、振り付けは、参加選手が自由に構成

(4) テコンドー技に認め難いものは、減点の対象になる。テコンドー技の定義は、参加選手が事前に提出したプムセ計画書〔音楽、プログラムテーマ(技含む)〕に含まれたもので、大会競技委員会が認めた技

★Uーは Under の略。Oーは Over の略。

10・試合装備

①WTF(<http://www.worldtaekwondofederation.net/about-wtf/recognized/>)

公認テコンドープムセ道衣を着用のこと

②男子の道着(上)の下はTシャツ等の着用は禁止、女子は白色のみ着用可

11. 表彰 各カテゴリーの1位から3位までの入賞者に、メダルと賞状を授与する。また、最優秀選手賞、敢闘賞該当者には楯を授与する

12. 参加費 正加盟団体

個人 : 10,000 円 (傷害保険料含む)

ペア : 10,000 円 (二人で) (傷害保険料含む)

団体 : 15,000 円 (五人で) (傷害保険料含む)

準加盟団体 個人 12,000 円 (傷害保険料含む)

直轄会員 個人 15,000 円 (傷害保険料含む)

※一度ご入金いただきましたエントリー費用につきましてはいかなる理由があってもご返金致しかねますので、ご了承ください。

13. 申込方法

① 会員データサービス(シクミネット) <https://m5.members-support.jp/ajta/>
「イベント情報」⇒「イベント申込」より、出場階級にエントリーしてください。
エントリー費納入をもってエントリー完了となることをご注意ください。

(締切日≠エントリー入力日)(締切日=エントリー費納入日)

※コーチ(セコンド)も会員データサービス(シクミネット)よりエントリーしてください(必須)

※所属名の表記 I.所属道場・クラブ名 II.在籍学校名 III.所属企業名 いずれか1つを記載。トーナメント表や結果公表時の際、氏名と併記する所属名をI~IIIで

選択できます。選手は指導者と相談の上、申込時に記載してください。

② ペア・団体の登録は添付の別紙1の「第13回全日本テコンドーブムセ選手権大会（ペア・団体申請用紙）」に記載し、**都道府県協会でお取り纏め上、事務局へご提出ください（必須）**

③ フリースタイル楽曲使用について

楽曲使用にあたり、「一般社団法人日本レコード協会（音源複製）（以下 RIAJ）」および「一般社団法人日本著作権協会（以下 JASRAC）」への2件申請が必要となります。

【RIAJ への申請】

- ・別紙2の「RIAJ_テコンドー大会における音源使用許諾申請について」および「申請方法_テコンドー」をご確認いただき、メールまたはFAXにて指定のフォームへご記載いただき、RIAJへ直接ご自身でご提出ください。※申請先は別紙2に記載。
 - ・申請完了後（RIAJへお支払後）にRIAJより送付されます「許諾証」を10月20日までにメールにて事務局（japan2005tkd@ajita.or.jp）へご提出ください。（大会エントリーは10月6日までに済ませてください。）
- ※許諾証がないと楽曲の使用はできません。
※楽曲使用料の上限は邦楽5,000円（税別）、洋楽50,000円（税別）となります。（エントリー費用別途）

【JASRAC への申請】

- 当協会にて申請いたしますので、申請費用（1,000円程度）は会員データサービス（シクミネット）よりご入金ください。（エントリー費用別途）
- ・別紙3の「全日本テコンドー協会提出用（JASRAC申請）」用紙に必要事項をご記入いただき、10/20までに競技責任者小泉（bh5248shu@gmail.com）へメールにてご提出ください。（エクセルデータにてご提出願います。）

- ・使用する楽曲はMP3形式で
件名：第13回全日本ブムセ使用楽曲【所属：カテゴリー・氏名】にて
競技責任者小泉（bh5248shu@gmail.com）までメールで提出

14. 申込期日 **2019年10月6日（日）必着厳守**

※選手、コーチともに期日を過ぎての受付はいたしませんので、お早めにお申込みください。

15. 本要項に関する問合せ先

競技責任者 小泉秀一（携帯 090-2543-5207）